

とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2026.4 April vol.74-1

二月定例議会

誰も取り残されない社会

2月12日～3月12日まで県議会二月定例会が開かれました。提案された令和八年度予算案などすべての議案を可決し閉会しました。

今回は一問一答形式で一般質問に立ち、福祉の重層的支援体制や高校進学などについての考え方や取り組みについて質問をしました。

重層的支援体制の整備

この事業による成果をどのように評価しているのか。

健康福祉部長 これまで対応が難しかった方々に対して多機関で情報を共有し連携を図ることで、課題解決に向けた支援が行える体制の整備が進んできている。

知事として、この重層的支援体制整備事業をどう評価し、また県としての役割をどう考えておられるのか。

知事 重層的支援体制整備事業



業により包括的な支援に取り組むことで、複数の支援機関による連携が深まり、訪問支援などによる積極的なアプローチが進み、社会とのつながりが薄い方々に対する支援の仕組みづくりが行われるなど、困難を抱える方々への対応の強化につながるものと考えている。

県では、引き続き島根県社会福祉協議会、各市町村の社会福

祉協議会などと連携して、包括については、生徒個人の様々な支援が進むように市町村を悩みや思い、希望、考えを教職員支援していききたい。

生徒の気持ちに寄り添う学校

全国で最も低い水準ではあるが、高校を中途退学する生徒もある。生徒の学びたいという気持ちをどう実現させていくのか、思い描いたとおりに先に進めない生徒をどう支えていくのか。

教育長 高校入学後の進路変更

プルサーマル計画について

3月6日の防災地域建設委員

会で、中国電力から参考人招請を行い、島根原発2号機のプルサーマル計画について聴取しました。使用済み核燃料からプルトニウムを取り出してつくるMOX燃料を原発で活用する国のプルサーマル計画は未だ実現しておらず、今後も計画が達成されるのかも見通しは立っていません。そのような中、最終処分場もない核燃料を使い続けること自体に反対の立場から発言しました。県民の中にもプルサーマル計画に反対する声は多



建設地域環境委員会での質疑

会派県外調査
安心の地域社会をつくる

会派民主県民クラブでは3月16～17日に福岡県で県外調査を行いました。

孤立者を伴走型で支える

特定非営利法人「抱僕」の活動や取り組みについて調査しました。「抱僕」は北九州市を拠点にホームレスや生活困窮者の支援に1988年から取り組んでいる団体です。



CAN! P スクール粕谷代表（左から3人目）を囲んで

ホームレスとひとくくりにいつても、そのなかには住むところがない経済的困窮の「ハウ・スレス」と家族や同僚などの

つながりがいない社会的孤立の「ホームレス」があり、「抱僕」

では、住まいを確保し、経済的な支援を進めるとともに、社会参加し、就労などにつなげ自立した生活ができるよう伴走型の支援を行っています。

この伴走型の支援を行っていくことが大事で、住まいや生活費の確保だけでなく、社会とのつながりを持ち孤立させない状況をつくっていくために、「法僕」では様々な人たちが関わり合って孤立している人を支えています。

人間の感性に重きを置く

オルタナティブスクール「CAN! P スクール」では不登校児童のフリースクールや放課後児童クラブのアフタースクールなどを行っています。特に、フリースクールでは、民家を借りアットホームな環境で、児童と一緒に学習する場や自学習する部屋、工作などをする作業場などを備え、それぞれの進度に合わせた基礎学習やテーマ学習、個々で決めたテーマ



堤市長（中央）を囲んで

で挑戦するマイプロジェクト、自然体験などの学習を行っています。教員免許を持ったスタッフが指導に当たっています。

代表の粕谷直洋さんは、以前の職場KUMONで働いていたときから子どもの教育に関心を持ち、自らの意思で選択し、決定できる人を育てたい、人間の感性に重きを置いた学校をつくりたいという思いがあつて、このスクールの開設に至りました。

全国的にフリースクールにも目が向けられるようになってきましたが、いずこも同じで支援の手はまだ十分に届いていません。これからも声を上げ続けて

いくことが必要です。

安心して生活ができる社会

昨年9月に大野城市の市長に就任した堤かなめさんにお会いしました。堤市長は大学の教授から福岡県議会議員（3期）を経て衆議院議員（2期）を務める中、大野城市の市長選挙に立候補し、自公推薦候補を破り当選を果たしました。

選択制の中学校の給食を全員制に移行することや、学びの多様化校の開設など堤市長の取り組みについて有意義な意見交換ができました。リーダーが変わることでも市民の意識も変わってきます。誰もが主役になれるまちづくりが、堤市長のリーダーシップで進むことを願っています。

癒しの音色ツインバロン

4月12日に後援会の総会が開かれました。今回はゲストにツインバロン奏者の斉藤浩さんをお招きし、演奏していただきました。普段、演奏を聴く機会の少ないツインバロンの美しい音色に、会員の皆さんの癒しのひとときとなりました。私からは議会での活動を中心に活動報告をさせていただきます。

スタートしました。

総会は新しく会長に就任にされた谷正次新会長の挨拶で始まり、前年度の活動報告、新年度活動計画、新役員体制などの報告提案が承認され、新たな活動が

